

教科	国語		科目	現代文 B	単位数	2
学年	2年		類型	地域ビジネス科・商業科		
教科書(出版社)	新編現代文 B (東京書籍)					
副教材(出版社)	新編現代文 B 学習課題ノート (東京書籍)					
授業の概要	教材の読解を通して、基礎的な理解力や要旨を把握する力を養う。また、グループ学習などを通して多様な思考に触れ、主体的な考察を行うとともに、自身の思考を表現したり発表したりする。					
授業の目標	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。様々なジャンルの文章を的確に理解する能力を養成し、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、豊かな感受性を養う。					
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)			学習目標		
	1 学期	1 随想 ・ さくらさくらさくら 2 詩歌 ・ I was born 3 評論 1 ・ 生命とは何か 4 詩歌 ・ 信濃路	<ul style="list-style-type: none"> <li>桜の花に対する日本人独自の感性と筆者の思いを理解する。</li> <li>散文詩を読み、蜻蛉のイメージに託された生命への思いを深く味わう。</li> <li>論の展開に注意して筆者の考えを読み取り、生命の特徴や不思議について理解する。</li> <li>短歌の修辞技巧を理解し、それぞれの短歌に詠まれた情景や作者の思いを読み取る。</li> </ul>			
	2 学期	1 小説 1 ・ みどりのゆび 2 評論 2 ・ 思考の肺活量 3 働くよろこび ・ 分からないからおもしろい	<ul style="list-style-type: none"> <li>小説における表現の工夫を理解し、場面展開を的確に読み取る。</li> <li>人物関係や、主人公の心情を読み取り、自分の感想を文章にまとめる。</li> <li>論理の展開を正確に読み取らせ、思考のあるべき姿について理解する。</li> <li>抽象的な概念を表す語句を理解する。</li> <li>筆者の体験をもとにした、労働に対する考え方を読み取る。</li> <li>「働くこと」についての自分の考えをまとめる。</li> </ul>			
	3 学期	1 小説 3 ・ ころ	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本近代文学の代表的な作品を読み、現代に通じる問題意識を読み取ることで、作品主題の普遍性を理解する。</li> </ul>			
観点別 評価	関心・意欲・態度	話す聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解	
	国語を理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重して、その向上を図ろうとしているか。	目的や場に応じて効果的に話したり、的確に聞き取ったりして、自分の考えをまとめ、発展させているか。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させているか。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させているか。	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けているか。	
備考	5つの観点に基づき、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。					



教科	国語	科目	古典 B	単位数	3
学年	3年	類型	地域ビジネス科・商業科		
教科書(出版社)	高等学校 改訂版 標準古典 B (第一学習社)				
副教材(出版社)	標準古典 B 学習課題集 (第一学習社)				
授業の概要	1 講義形式だけでなく、ペアワークやグループワークなども取り入れながら、基礎知識の定着と読解の深化を図る。 2 古文単語や文法などの小テストを適宜行う。				
授業の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	1 宇治拾遺物語 ・ 亀を買ひて放つ事  2 説苑 ・ 不顧後患  3 大鏡 ・ 弓争ひ ・ 三舟の才  4 三国志の世界 ・ 水魚之交	・ 動物の報恩譚に触れることで、古文に親しむ態度を養う。 ・ 起承転結のはっきりした短い説話を読んで、大意把握の力を養う。 ・ 読みにくい語句に注意して、正確に音読する。 ・ 論の展開について理解し、主題を読み取る。 ・ 戯曲的な構成を理解し、内容を的確に捉える。 ・ 語り手の視点や判断基準について考える。  ・ 魏・呉・蜀三国の興亡の概要など歴史的背景について理解する。 ・ 基本的な句法について理解する。		
	2 学期	1 源氏物語 ・ 光る君誕生 ・ 若紫  2 三国志の世界 ・ 死諸葛走生仲達  3 蜻蛉日記 ・ 汨坏の水  3 名家の文章 ・ 売油王 ・ 猫相乳	・ 人間関係を把握し、長編物語特有の話のおもしろさを理解する。 ・ 和歌を含む物語を読んで、物語における和歌の役割を考える。 ・ 本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改められるようになる。 ・ 話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・ 日記を読んで、作者の思想や感情を読み取る。 ・ 文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・ 敬語や助詞・助動詞の知識を確認し、解釈にいかす力を養う。 ・ 中国の代表的な文章を読んで、作者の人生観・政治論・教育論を理解する。		
	3 学期	1 評論 ・ 玉勝間 ・ 兼好法師が詞のあげつらひ	・ 宣長のものの見方を参考にして、これまで学習した古典作品を味わい直す。		
観点別 評価	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	古典を読む力を身に付け、作品について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとしているか。			古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとしているか。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けているか。
備考	3つの観点に基づき、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				



教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数	3
学年	3年	類型	商業科		
教科書(出版社)	改訂版 詳説日本史B (山川出版)				
副教材(出版社)	プロムナード日本史 (浜島書店)				
授業の概要	教科書に沿って本文の内容(日本史概観)を理解する。その中で、単に歴史用語を暗記するのではなく、歴史的背景や展開、歴史的意義の理解を図る。				
授業の目標	わが国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、わが国の文化と伝統の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を養い、国民としての自覚と国際社会で平和を愛する日本人としての資質を養う。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	7 幕藩体制の展開 2年次より継続 (1)幕政の安定 (2)経済の発展 (3)元禄文化 8 幕藩体制の動揺 (1)幕政の改革 (2)幕府の衰退と近代化への道 (3)宝暦・天明期の文化・化政文化 9 近代国家の成立 (1)開国・幕末の動乱(2)明治維新・富国強兵 (3)立憲国家の成立と日清戦争 (4)日露戦争と国際関係 (5)近代産業の発展 (6)近代文化の発達	以下の項目に関して、近世武士社会の熟成・衰退・終焉と近代国家の幕開けを理解する。 ・幕政の安定と近世日本の熟成した社会・文化について理解する。幕府と諸藩の改革の特徴を理解する。 ・列強の接近と幕府の衰退を理解する。 ・開国と幕末の動乱の推移を理解する。 ・明治維新の意義と帝国憲法の特徴を理解し、東アジア情勢を考察する。 ・日清・日露戦争の経過と意義を理解する。 ・資本主義社会の成立と発展を理解する。		
	2 学期	10 二つの世界大戦とアジア (1)第一次世界大戦 (2)ワシントン体制 (3)市民生活の変容と大衆文化 (4)恐慌の時代 (5)軍部の台頭 (6)第二次世界大戦 11 占領下の日本 (1)占領と改革 (2)冷戦の開始と講和 12 高度成長の時代 (1)55年体制 (2)経済復興から高度成長へ	以下の項目に関して、日本のファシズムへの道と戦争の惨禍、および戦後社会について理解する。 ・両世界大戦への参加した理由と朝鮮・中国への権益の拡大について理解する。 ・恐慌の背景とその対応について理解する。 ・ファシズム体制の成立過程を理解する。 ・戦後の民主化推進について理解する。 ・保守長期政権の成立と国際関係について理解する		
	3 学期	13 激動する世界と日本 (1)経済大国への道 (2)冷戦終結と日本社会の変容	以下の項目に関して、現代日本の課題を理解する。 ・経済大国から経済的停滞になる過程と日本の国際的役割について理解する。		
観点 別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
	日本史の概観への関心と課題意識を深め、意欲的に追究しながら、国際社会に主体的に生きるようとする資質を養う。	日本史から課題を見だし、文化の多様性と現代社会の特質を多面的・多角的に考察するとともに、公正に判断する。	日本史の諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通し、歴史的事象を追究する方法を身に付ける。	日本の歴史についての基本的な事柄を、世界の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	
備考	4つの観点に基づき、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				

教科	地理歴史	科目	地理 B	単位数	3
学年	3 年	類型	商業科		
教科書 (出版社)	新詳地理B (帝国書院) 新詳高等地図 (帝国書院)				
副教材 (出版社)	パワーアップ整理と演習 (帝国書院) 最新地理図表GEO (第一学習社) 地理ワークブック (愛媛県高等学校教育研究会地理歴史・公民部会 地理部門) 地理統計要覧 (二宮書店)				
授業の概要	教科書と副教材をもとに授業を展開する。ワークブックでの作業を通じて地理的技能を磨く。また、統計要覧などを活用し、世界の諸地域の特徴を考察するとともに、図表を活用し視覚的にイメージでとらえる習慣を身に付ける。				
授業の目標	現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
年間 学習 計画	学習内容 (単元・項目)		学習目標		
	1 学期	2 資源と産業 (5) 世界の工業 (6) 第3次産業 (7) 世界を結ぶ交通・通信 (8) 現代世界の貿易と経済圏 3 人口、村落・都市 (1) 世界の人口 (2) 人口問題 (3) 村落と都市 (4) 都市・居住問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の工業、流通、消費などに関する諸事象について、それらの分布や動向などについて考察するとともに、世界の中での日本の貿易や経済の現状と課題を考察する。</li> <li>交通や通信の発達による一体化と地域性を考察する。</li> <li>世界人口の分布の特徴や動態、人口構成や人口転換を考察する。</li> </ul>		
	2 学期	4 生活文化、民族・宗教 (1) 世界の衣食住 (2) 民族と宗教 (3) 現代世界の国家 第3部 現代世界の地誌的考察 1 現代世界の地域区分 2 現代世界の諸地域 (1) アジア (2) アフリカ (3) ヨーロッパ	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣食住について、分布や地域的差異を考察するとともに、民族と宗教について、生活との関わりを考察する。</li> <li>地誌を考察する方法として、世界の諸地域を多様な事象を項目ごとに整理して考察する方法、特徴ある事象と他の事象を有機的に関連づけて考察する方法、対照的な又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法があることを理解する。</li> </ul>		
	3 学期	(4) ロシア (5) アメリカ (6) オセアニア			
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解	
	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究しようとする。	現代世界の地理的事象から課題を見出し、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を正確に読み取っている。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解している。	
備考	4つの観点に基づき、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	2
学年	3年	類型	商業科		
教科書（出版社）	高等学校 改訂版 政治・経済（第一学習社）				
副教材（出版社）					
授業の概要	教科書に沿って、本文の内容を理解し、議論する。概論だけでなく、時事的トピックも扱いながら現代社会の諸課題を深く学ぶ。				
授業の目標	多角的な視点から現代社会の諸問題についてより深く理解を深め、人間としてのあり方生き方について主体的かつ公正に判断、考察する力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。				
年間 学習 計画	学習内容（単元・項目）		学習目標		
	1 学期	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 第2章 現代の国際政治と日本	民主政治の本質を把握しながら、政治と私たちとの関わりについて理解する。民主主義のあり方について理解するとともに、現代政治の特質について把握する。望ましい政治のあり方や、主権者としての参政のあり方について考察する。		
	2 学期	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質 第2章 国民経済と国際経済	経済の基本的な概念や経済理論を学習することによって、現代経済の特質について考える。家計・企業・政府が互いにどのように関わりあいながら国民経済を構成しているのかを理解させる。国際経済に関する基本的な概念や理論を理解しながら、国際経済における日本が果たすべき役割について考察する。		
	3 学期	第3編 現代社会の諸課題	現代の日本が抱える課題を、政治と経済との関連に留意しながら、さまざまな視点から考え、望ましい解決のあり方を考える。それぞれの課題には、さまざまな角度からの対応策があることを把握しながら、幅広い視点から考察することを身に付ける。		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考えようとする。	現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見だし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断する。	現代の政治、経済、国際関係にかかわる諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を主体的に選択し活用するとともに、追究し考察した過程や結果を様々な方法で適切に表現する。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向をとらえる基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につける。	
備考	4つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				





教科	数 学	科目	数学探究	単位数	2
学年	3 年	類 型	情報ビジネス科・商業科		
教科書(出版社)	数学探究テキスト(松山商業高等学校)				
副教材(出版社)					
授業の概要	数と式、整数の性質、2次関数、図形と計量、場合の数と確率、データの分析で、1・2年生の全復習から応用まで学習する。				
授業の目標	1・2年次に既習した内容について総復習をするとともに、基礎的な知識や技能を身に付ける。また、それらを的確に応用する能力を伸ばし、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようになる。				
年 間 学 習 計 画	学習内容(単元・項目)		学 習 目 標		
	1 学 期	1章 1節 数と式  2節 整数の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>整式についての加法、減法、乗法の計算及び展開公式・因数分解公式を自在に使いこなせるようになる。不等式の性質を理解すると共に、1次不等式・2次不等式の解き方を修得する。</li> <li>最大公約数、最小公倍数の性質から互除法の使い方を復習する。さらに、不定方程式の解を見つけられるようにする。n進数の性質を復習し、応用問題にチャレンジする。</li> </ul>		
	2 学 期	2章 2次関数  3章 図形の計量と図形の性質 1節 三角比  4章 場合の数と確率	<ul style="list-style-type: none"> <li>2次関数のグラフを式変形し、2次関数の最大・最小を理解し、具体的な問題に応用できるようになる。2次関数のグラフと2次方程式の関係を理解し、2次方程式の解を求める様々な方法についての技能を修得すると共に、2次不等式を解けるようになる。</li> <li>座標を用いた鈍角の三角比の求め方を理解する。一般の三角形の辺と角との間に成立する三角形の面積の公式と、正弦定理、余弦定理を理解し、活用できるようになる。</li> <li>確率の基本定理を理解し、応用できるようになる。特に具体例を通して、条件つき確率と独立試行の定理の考え方を理解する。</li> </ul>		
	3 学 期	5章 データの分析 1節 データの整理と分析 2節 データの相関	<ul style="list-style-type: none"> <li>データを整理する必要性を理解し、度数分布表、ヒストグラム、相対度数、箱ひげ図、相関係数を知る。</li> </ul>		
観 点 別 評 価	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解	
	関心を持つとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用できるか。	事象を数学的にとらえ、論理的に考えとともに思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えられるか。	事象を数学的に考察し、表現し処理する仕方や推論の方法を身に付け、よりよく問題を解決できるか。	基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し、基礎的な知識を身に付けているか。	
備 考	4つの観点に基づき、各学期ごとに定期考査までの学習のまとめりに評価し、100点法で評価する。また、学年末の評価は、各学期の評価を平均し総合的に評価する。				

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	2
学年	3年	類型	流通経済科・情報ビジネス科・商業科		
教科書(出版社)	新編 地学基礎(数研出版)				
副教材(出版社)	改訂版リト <sup>α</sup> Light ノート地学基礎(数研出版)、三訂版リト <sup>α</sup> 地学基礎(数研出版)				
授業の概要	地球がプレートの運動や太陽の放射エネルギーによって変動してきたこと、宇宙と惑星としての地球の特徴、地球環境と人間生活とのかかわりについて学習する。				
授業の目標	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、地学的に探求する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	序編 惑星としての地球 第1編 活動する地球 第1章 地球の構造 第2章 プレートの運動 第3章 地震と地殻変動 第4章 火山 第2編 移り変わる地球 第1章 地層の形成 第2章 古生物の変遷と地球環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球の形・大きさの測定の仕方や構造などについて、スケールも含めて理解する。</li> <li>プレートの運動について学び、火山活動と地震活動が総合的に一つの仮説にまとめられることを理解する。</li> <li>地震の性質と地殻変動について理解を深める。</li> <li>火山活動と、その結果として形成される岩石について学ぶ。</li> <li>太陽エネルギーと重力がどのように地形の変化や堆積作用にかかわっているかを学ぶ。</li> <li>地球と生命の関係の理解を深める。</li> </ul>		
	2 学期	第3編 大気と海洋 第1章 地球の熱収支 第2章 大気と海水の運動 第4編 地球の環境 第1章 地球環境の科学 第2章 日本の自然環境 第5編 宇宙の構成 第1章 太陽と恒星 探求活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>大気圏の構造と、地球の熱収支について理解する。</li> <li>海洋も大気の運動と同じように熱収支のバランスにとって重要であることを理解する。</li> <li>時間スケールの大きな現象を考える場合は、全地球的にとらえることが必要であることを理解する。</li> <li>日本の自然環境の特徴と、そこで起こる災害を理解する。</li> <li>太陽のエネルギー源や構造、太陽の活動のようすなどについて学ぶ。また、恒星の進化の過程や時間的なスケールを理解する。</li> </ul>		
画	3 学期	第2章 宇宙のすがた	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽系の天体に関して、系統的に学習し、理解を深める。</li> <li>ビッグバンによる宇宙の誕生を理解し、宇宙の構造を知る。</li> </ul>		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	観察・実験の技能	知識・理解	
	・身近な自然事象について興味と関心をもちながら、積極的な態度で授業に取り組むことができる。	・簡単な仮説をあげ、その処理実験と対照実験を考えることができる。	・実験計画に沿った観察・実験の実行と結果の整理を行う。 ・実験器具の操作やデータ処理を適切に行うことができる。	・学習内容について理解を深めることができる。 ・観察実験で得られたデータをもとにして関連する知識を整理できる。	
備考	4つの観点に基づき、各学期ごとに定期考査までの学習のまとめりに評価し、100点法で評価する。また、学年末の評価は、各学期の評価を平均し総合的に評価する。				



教科	理科	科目	理科探究	単位数	2
学年	3年	類型	商業科		
教科書(出版社)	「理科探究」の手引き(愛媛県立松山商業高等学校)				
副教材(出版社)					
授業の概要	2年次に履修した「生物基礎」分野について、学習活動や実験・実習による探究活動を通して、知識を深化させるとともに科学的な考察力を習得する。				
授業の目標	1 生物の構造や機能について、基礎的知識を深めるとともに、これらに関連する実験・観察を通して生物や生命活動に親しみをもって接する態度を養う。 2 問題演習を通して、生物に関する事象を深く考察する能力を身に付ける。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	ガイダンス 1 生物の特徴  2 遺伝子とそのはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物の多様性と共通性について理解を深める。</li> <li>光合成と呼吸について、酵素のはたらきをふまえて理解する。</li> <li>エネルギー代謝とATPのはたらきについて理解する。</li> <li>遺伝子のはたらきとDNAの構造について理解する。</li> <li>タンパク質合成のしくみとDNAの遺伝情報の関連性について理解を深める。</li> <li>体細胞分裂を観察し、染色体の行動について理解する。</li> </ul>		
	2 学期	3 体内環境とその維持  4 植生の多様性  5 生態系と保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>脊椎動物の体液とそのはたらきについて理解する。</li> <li>腎臓や肝臓のはたらきについて理解を深める。</li> <li>自律神経系とホルモンのはたらきについて理解する。</li> <li>植生とその多様性について理解する。</li> <li>日本と世界のバイオームの特徴について理解する。</li> <li>生態系の構造と生物のつながりについて理解する。</li> <li>生態系の物質循環とエネルギーの流れについて理解する。</li> </ul>		
	3 学期	「理科探究」のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間活動による生態系への影響について考察する。</li> <li>地球環境の保全について多角的に考える力を身に付ける。</li> <li>探究活動や問題演習を通して科学的なものの見方ができるようになるとともに、さまざまな事象を深く考察する力を身に付ける。</li> </ul>		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	実験・観察の技能	知識・理解	
	自然の現象について興味と関心をもち、積極的な態度で授業、実験に取り組むことができる。	授業内容について科学的な捉え方ができている。 授業内容と社会や生活との関連を考えることができる。	実験計画に沿った観察・実験の実行と結果の整理を行う。 実験器具の操作やデータ処理を適切に行うことができる。	学習内容について理解を深めることができる。 基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	
備考	4つの観点に基づき、各学期ごとに100点法で評価する。また、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				



教科	保健体育	科目	体育	単位数	3
学年	3年	類型	流通経済科・情報ビジネス科・地域ビジネス科・商業科		
教科書(出版社)	現代高等保健体育 改訂版(大修館書店)				
副教材(出版社)	現代高等保健体育ノート 改訂版(大修館書店)				
授業の概要	心と体を一体としてとらえ、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって計画的に運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図る運動を実践します。				
授業の目標	<p>1 各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができる能力や態度を育成します。</p> <p>2 集団行動を正しく理解し、秩序正しく能率的に行う能力を養い、スポーツにおいて安全と運動効率の向上を目的とし、自己管理を積極的に行う資質を育成します。</p>				
年 間 学 習 計 画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学 期	<p>1 体づくり運動</p> <p>(1) 体ほぐしの運動</p> <p>ア 集団行動(応用動作)</p> <p>イ ストレッチング</p> <p>(2) 体力を高める運動</p> <p>ア 時間走</p> <p>イ 持久走(スポーツテスト)</p> <p>2 球技選択Ⅰ</p> <p>(1) テニス</p> <p>(2) バドミントン</p> <p>(3) 卓球</p> <p>3 体育理論Ⅶ</p>	<p>・自主的な集団行動の定着と日々の活動の中での応用を目指します。</p> <p>・主運動を行う前の、正確な準備運動やストレッチを学びます。</p> <p>・自分の体力の実態を知るため、体力テストを行います。</p> <p>・個人技能や集団的技能の程度に応じてゲームができるようになります。</p> <p>・各技能を発揮し、攻撃と防御を展開し、勝敗を争うことの中から作戦を立て、工夫をすることの楽しさや喜びを味わい、生涯スポーツに生かします。</p> <p>・豊かなスポーツライフの設計について学びます。</p>		
	2 学 期	<p>4 球技選択Ⅱ</p> <p>(1) ソフトボール</p> <p>(2) バレーボール</p> <p>(3) ハンドボール</p> <p>5 球技選択Ⅲ</p> <p>(1) サッカー</p> <p>(2) ハンドボール</p> <p>(3) バスケットボール</p> <p>(4) 卓球</p> <p>6 体育理論Ⅷ</p>	<p>・個人技能や集団的技能の程度に応じてゲームができるようになります。</p> <p>・各技能を発揮し、攻撃と防御を展開し、勝敗を争うことの中から作戦を立て、工夫をすることの楽しさや喜びを味わい、生涯スポーツに生かします。</p> <p>・豊かなスポーツライフの設計について学びます。</p>		
	3 学 期	7 球技選択Ⅲの続き	<p>・個人技能や集団的技能の程度に応じてゲームができるようになります。</p> <p>・各技能を発揮し、攻撃と防御を展開し、勝敗を争うことの中から作戦を立て、工夫をすることの楽しさや喜びを味わい、生涯スポーツに生かします。</p>		
観 点 別 評 価	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解	
	<p>・運動の楽しさや喜びを深く味わうために自ら進んで運動しようとしている。</p> <p>・公正・協力・責任などの社会的態度が身に付いている。</p>	<p>・自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題を見つけ出している。</p> <p>・課題解決を目指し、工夫している。</p>	<p>・運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する事項を理解し、身に付けている。</p>	<p>・自己体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。</p>	
備 考	4つの観点に基づき、学期ごとに100点法で評価し、学年末には、各学期の評価を平均し、総合的に評価する。				

教科	外国語	科目	コミュニケーション英語 III	単位数	4
学年	3年	類型	地域ビジネス科・商業科		
教科書 (出版社)	Revised BIG DIPPER English Communication III (数研出版)				
副教材 (出版社)	英語総合問題 Seek neo 4 THIRD EDITION (第一学習社) 共通テスト英語プレノート (数研出版)				
授業の概要	1 単語やイディオムの意味を辞書で調べて内容の概要を把握しておく。 2 予習の段階で分からなかった箇所の説明を聞いてノートを取るとともに、ペアワークやグループワークなどを通して自己表現を行う。				
授業の目標	1 様々なジャンルの題材に触れながら、語彙力・表現力を高める。 2 客観問題と記述問題の双方を解くことで入試に必要な読解力を身に付けて、要約文やディスカッションへとつながる表現力を育てる。				
年 間 学 習 計 画	学習内容 (単元・項目)		学習目標		
	1 学 期	Lesson 1 The History of Ekiben Lesson 2 Three Tips for Maintaining a Conversation Lesson 3 Do You Judge People by Their Blood Types? Lesson 4 My Opinion of Zoos Lesson 5 The 55-Year Race Lesson 6 After the Flowers Lesson 7 Online Word-of-Mouth Lesson 8 Kintsugi Lesson 9 Alfred Nobel: A Person of Peace Lesson 10 Art on Display Lesson 11 Keys to Winning Lesson 12 She Sells Seashells by the Seashore	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウェブサイト、旅行ガイド、パンフレット、新聞など様々な題材に触れ、必要な情報を的確につかみ、文法語法を定着させながら、実生活に生かした自己表現活動につなげる。</li> <li>学習のポイントは、言い換え表現、時間的順序、対比表現、因果関係を表す表現、追加・列挙、スキミング、譲歩などの英文読解に必要なスキルの習得である。適度に短めな英文を音読・暗唱して読解力向上を目指す。</li> </ul>		
	2 学 期	Lesson 13 A New Orchestra and a New Harmony Lesson 14 Swimwear for Speed Lesson 15 The Immortal Jellyfish Lesson 16 Antarctica by Cruise Ship Lesson 17 The Shoe That Grows Lesson 18 Let's Try English Presentations! Lesson 19 Bottled Water? No Water? Lesson 20 Endangered Languages Lesson 21 Left in Space Lesson 22 ハリエット・タブマンの伝記	<ul style="list-style-type: none"> <li>エッセイ、説明文、伝記など心理など代表的なジャンルの題材を通して必要な情報を読み取ったり、環境・自然、文化・国際理解コミュニケーション・情報社会に関連する語句を確認する。また、その情報をもとに適切な表現活動を行う。</li> <li>学習のポイントは、強調構文、使役構文、否定表現 分詞構文、不定詞などを身に付け、語彙力や表現力を高めることである。</li> </ul>		
	3 学 期	Lesson 23 ミツバチの大量死の原因 Lesson 24 人はどれくらい嘘をつくのか Lesson 25 顔認証システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>長めの文章を読んで読解力向上を目指す。また客観問題と記述問題を組み合わせ、入試に必要な力を育てる。</li> <li>学習のポイントは、要約文、ディスカッション、など将来役立つスキルを身に付けることである。</li> </ul>		
観 点 別 評 価	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	
	本文を読んだ後に、感想や意見を発表しようとしていたり、発表をしっかりと聞いたりする。また本文内容に関する質問に積極的に答えようとする。	本文に関連する自分の経験や、本文への意見をクラスメイトに説明することができる。パラグラフごとに本文の内容を要約することができる。	聞いたり読んだりした英語の題材について概要や要点をとらえることができる。また、そのために必要な語句や表現、文法事項などの知識を活用することができる。	英語の音声的な特徴や英語を使用している人々の文化的背景について理解している。また、語句や表現、文法事項などの知識を身に付けている。	
備考	4つの観点に基き、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に評価する。				





教科	外国語	科目	英語表現 II	単位数	2
学年	3年	類型	商業科		
教科書 (出版社)	NEW ONE WORLD Expressions II Revised Edition (教育出版)				
副教材 (出版社)	CLOVER 英文法・語法ランダム演習 入試標準(数研出版)、英文法・語法 Engage(い いずな書店)、大学入学共通テスト対応リスニング 30分(第一学習社)、共通テストド リル英語リスニング 10minutes(Z会)				
授業の概要	1 予習として各レッスンの重要表現の意味を確認しておく。 2 授業では、積極的にペアワークやグループワークに参加し、話し方を工夫し て、自分の考えや気持ちを相手に伝える。				
授業の目標	1 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 2 事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しな がら伝える能力を伸ばす。				
年 間 学 習 計 画	学習内容 (単元・項目)		学 習 目 標		
	1 学 期	Program 1 Would You Do Me a Favor? Program 2 Why Don't You Come and See Me? Program 3 This Is to Let You Know Program 4 Because He Can Relax with Her Program 5 This Tablet Is Designed for Overseas Use Paragraph Writing 1 Recommending Places to Visit Program 6 Congratulations! Program 7 What Would You Like to Be in the Future?	・依頼・許可・断りを示す表現 ・助言・忠告を示す表現 ・苦情・謝罪を示す表現 ・原因・理由・根拠を示す表現 ・目的を示す表現 ・パラグラフの作り方 ・祝福・喜び・感謝を示す表現 ・希望・期待を示す表現		
	2 学 期	Program 8 What Are You Going to Do Next Weekend? Program 9 I'm Not Sure, But It's True... Program 10 In My Opinion Paragraph Writing 2 What Is Your Dream? Program 11 Across from the Department Store Program 12 It Sometimes Happens in Wintertime Program 13 Two Libraries in This City Program 14 I Was So Depressed about My English that... Program 15 Here Is a Way to Make the Most Popular Food Paragraph Writing 3 Exchanging Our Warm Feelings	・予定・意図を示す表現 ・推察・確信を示す表現 ・主張・賛成・反対を示す表現 ・パラグラフの作り方 ・場所・方向を示す表現 ・数量・頻度・割合を示す表現 ・比較・対照を示す表現 ・程度・結果を示す表現 ・列挙・時間的順序を示す表現 ・パラグラフの作り方		
	3 学 期	Project 1 Let's Start Saving Energy – But How? Project 2 The World's Population Project 3 What Kind of Play Shall We Put On? Project 4 High Schools Should Serve School Lunches	・スピーチの方法 ・プレゼンテーションの方法 ・ディスカッションの方法 ・ディベートの方法		
観 点 別 評 価	コミュニケーションへ の関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解	
	積極的な態度で言 語活動に参加し、相 手とのコミュニケー ションを図ろうと努 力している。	英語で話し合ったり意 見の交換をしたりす ることができる。情報や考え などを英語で簡潔に書 くことができる。聞き手に 伝わるように英語で音読 することができる。	/		単語、熟語、文法な どについて、その意味 や適切な使い方を理解 している。英語を使う 上で必要な文化的背景 について理解してい る。
備 考	3つの観点に基き、学期ごとに 100 点法で評価し、学年末には各学期の評価を平均し総合的に 評価する。				

教科	家庭	科目	生活産業基礎	単位数	2
学年	3年	類型	地域ビジネス科・商業科		
教科書(出版社)	生活産業基礎(実教出版)				
副教材(出版社)					
授業の概要	(1)生活の変化と生活産業、(2)生活の変化に対応した商品・サービスの提供、(3)生活産業と職業、(4)職業生活と自己実現の4項目で構成しており、体験的な学習を通して専門的な学習への意欲を高め、勤労観、職業観を身に付ける。				
授業の目標	衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業への関心を高め、必要な知識と技術を進んで習得し活用する意欲と態度を身に付ける。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	第1章 「生活産業基礎」を学ぶ 1節 私たちの生活と「生活産業」 2節 「生活産業」のスペシャリストになるために 第2章 生活に対応した商品・サービスの提供 1節 消費者ニーズの把握 2節 商品・サービスの企画・開発及び販売・提供 3節 関連法規 第4章 衣生活関連分野の産業と職業 1節 衣生活の変化と生活産業のかかわり 2節 衣生活関連産業の職業と資格	・近年の社会の変化と産業構造の変化に伴って、働き方やライフスタイルが多様化していること、人々のニーズの変化を的確に捉えた商品・サービスが提供されていることを理解する。 ・消費者ニーズを把握するための調査方法や、結果の活用方法を知る。 ・商品やサービスの企画、開発から販売・提供の仕組みを知り、具体的に商品開発について考える。 ・商品やサービスに関する法規を理解する。  ・人々の意識の多様化により、ファッションが多様化していることを理解する。 ・様々な資格や職業について具体例を通して興味・関心を持つ。		
	2 学期	第3章 食生活関連分野の産業と職業 1節 食生活の変化と生活産業のかかわり 2節 食生活関連産業の職業と資格 第6章 ヒューマンサービス関連分野の産業と職業 1章 社会の変化とヒューマンサービス 2章 ヒューマンサービス関連産業の職業と資格 第5章 住生活関連分野の産業と職業 1節 住生活の変化と生活産業とのかかわり 2節 住生活産業の職業と資格	・外食・中食産業、食品流通業の意義と役割を理解する。 ・消費者のニーズや消費行動に対応した商品・メニュー開発、販売やサービスの方法に関心を持つ。 ・様々な資格や職業について具体例を通して興味・関心を持つ。 ・ライフスタイルや価値観の多様化によってヒューマンサービス関連分野に対する需要が高まっている状況を認識し、意義と役割を理解する。 ・様々な資格や職業について具体例を通して興味・関心を持つ。 ・住生活に関わる産業の意義と役割を理解し、人々がライフスタイルや価値観に合った住居を求めていることを具体的な事例を通して理解する。 ・様々な資格や職業について具体例を通して興味・関心を持つ。		
	3 学期	第7章 職業生活と自己実現 1節 職業生活と生きがい 2節 将来の生活と学業	・生活産業にかかわる職業人に求められる資質・能力について理解する。 ・生活産業のスペシャリストとして働くことが自己実現につながっていくことを理解する。		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
	生活産業に関連する職業の種類や特徴について関心を持ち、主体的に学習活動に取り組んでいる。	生活産業に関連する調査・実習等を通して、生活産業の意義や役割について思考を深めている。	生活産業に関連する調査等から情報を整理したり、実習内容について理解し、表現することができる。	生活産業の種類や特徴を理解し、関連する職業に関わる知識を身に付けている。	
備考	4つの観点に基づき、各学期ごとに100点法で評価し、学年末には各学期の評定を平均し、総合的に評価する。				



教科	商業	科目	課題研究	単位数	3
学年	3年	類型	商業科		
教科書(出版社)	課題研究の手引き(松山商業高校)				
副教材(出版社)					
授業の概要	財務諸表に関する基礎的な知識と技術を習得する。また、利害関係者に会計情報を提供する能力と態度、及び、提供された会計情報を活用する能力と態度を育成する。				
授業の目標	1 財務諸表の作成に関する知識と技術を習得する。 2 財務会計の意義や制度について理解する。 3 会計情報を提供し、活用する能力と態度を身に付ける。				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	第1編 企業会計の基礎	・資産、負債、純資産の種類と会計処理及び財務諸表の作成をとおして、企業の財政状態を適切に報告するための基礎的な知識と技術を習得する。		
		第2編 資産			
		第3編 負債			
		第4編 損益計算	・損益計算の意味と損益の区分、収益・費用の認識と測定及び損益計算書の作成をとおして、企業の経営成績を適切に報告するための基礎的な知識と技術を習得する。		
		第5編 財務諸表の作成			
2 学期	第6編 財務諸表の活用	・財務諸表分析の意義及び財務諸表の見方について学び、財務諸表を活用するための基礎的な知識と技術を習得する。 ・連結財務諸表の目的と連結の範囲及び連結財務諸表の基礎について学び、連結財務諸表に関する基礎的な知識と技術を習得する。			
	発展学習	・日商簿記検定の問題や全商会計実務検定の問題、大学入試センター試験の問題や大学入試の問題演習をとおして、知識の深化と技術の慣熟を図る。			
3 学期	発展学習	・日商簿記検定の問題や全商会計実務検定の問題、大学入試センター試験の問題や大学入試の問題演習をとおして、知識の深化と技術の慣熟を図る。 ・企業の経営者や社会人としての倫理観等を身に付ける。 ・課題研究報告書を作成し、発表する。			
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
	財務会計に関する学習に興味・関心を持ち、授業や課題に対して意欲的に取り組むなど、知識の深化と技術の向上に努めている。	会計に関する法規や基準の変更に対応し、適切な財務諸表を作成したり、利害関係者にとって有用性の高い分析をしたりするなど、主体的な判断を基に正確な作業ができる。	会計情報を利害関係者に提供する能力と態度及び提供された会計情報については、ビジネスの諸活動に適切に活用する能力と態度を身に付けている。	財務会計に関する基礎的・基本的な知識と帳簿作成技術、各種の数値を算出する方法を身に付けるとともに、経済社会において会計責任を果たすことの重要性について理解している。	
備考	4つの観点に基づき、各学期ごとに定期考査までの学習のまとめりに評価し、100点法で評価する。また、学年末の評価は、各学期の評価を平均し総合的に評価する。				

教科	商業	科目	総合実践	単位数	2
学年	3年	類型	商業科		
教科書(出版社)	総合実践 一企業取引を学ぶー 三訂版(実教出版)				
副教材(出版社)					
授業の概要	<p>1 これまでに学習してきた各科目の内容が、実際のビジネス活動でどのように関連しているかを体験的に学習する。</p> <p>2 ビジネス活動に必要な知識・技術を、模擬実践を通して、一連の業務の中で体験的・一体的に学習する。</p>				
授業の目標	<p>1 ビジネスに必要な基本的な知識・技術・態度を総合的に身につけ、それらを実際に活用できるようにする。</p> <p>2 ビジネス社会の有機的な関連を実践的に理解し、その中で自分が担当する職務についての自覚を深める。</p>				
年間 学習 計画	学習内容(単元・項目)		学習目標		
	1 学期	<p>第1編 基礎編</p> <p>第1章 総合実践の学習</p> <p>第2章 ビジネスマナー</p> <p>第3章 ビジネス文書の作成</p> <p>第2編 実践編</p> <p>第1章 模擬取引の学習</p> <p>第2章 模擬取引</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の目標と心得、学習方法を理解する。</li> <li>・社会人としての心得、基本的なマナー、応対時のマナー、電話による応対を理解する。</li> <li>・ビジネス文書の役割と重要性、ビジネス文書作成の基本、通信文書、封筒の書き方、社交文書の作成、ビジネス文書の管理、帳票を理解する。</li> <li>・卸売商の開始業務、経営計画、売買業務に必要な知識・技術・態度を実践的な演習をとおして学習する。</li> </ul>		
	2 学期	第2章 模擬取引	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卸売商の売買業務に必要な知識・技術・態度を実践的な演習をとおして学習する。</li> <li>・月末業務に必要な知識・技術・態度を実践的な演習をとおして学習する。</li> </ul>		
	3 学期	第2章 模擬取引	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末業務に必要な知識・技術・態度を実践的な演習をとおして学習する。</li> </ul>		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスの諸活動に関心を持ち、自ら考えて積極的に活動することができるか。</li> <li>・ビジネスに必要なマナーや知識を進んで習得しようとしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社の一員であるという意識を持ち、ビジネスマンとしてのマナー等に気をつけながら行動することができるか。</li> <li>・取引の流れや諸帳簿の起票および会計処理を正しく理解しているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・帳票作成に必要な個々の金額の計算方法を理解しているか。</li> <li>・取引に関する証票に基づく起票、帳簿記入、コンピュータを利用した帳票作成ができるか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記帳に必要な仕訳を理解しているか。</li> <li>・諸帳簿・諸表の作成ができるか。</li> <li>・帳簿に基づき、財務諸表の作成ができるか。</li> </ul>	
備考	各学期とも、期末考査において筆記試験を実施し、思考や知識の理解度を評価するとともに、毎時間の学習に対する意欲・関心・態度を作成する諸帳簿・諸表等の提出等で総合的に評価する。 筆記試験(50%) 実習(50%)				

教科	商業	科目	財務会計 I	単位数	2
学年	3年	類型	商業科		
教科書 (出版社)	財務会計 I (東京法令出版)				
副教材 (出版社)	完全段階式標準検定簿記問題集会計 (東京法令出版)				
授業の概要	財務諸表に関する基礎的な知識と技術を習得する。また、利害関係者に会計情報を提供する能力と態度及び、提供された会計情報を活用する能力と態度を身に付ける。				
授業の目標	1 財務諸表の作成に関する知識と技術を習得する。 2 財務会計の意義や制度について理解する。 3 会計情報を提供し、活用する能力と態度を身に付ける。				
年間 学習 計画	学習内容 (単元・項目)		学習目標		
	1 学期	第Ⅱ編 貸借対照表 第8章 貸借対照表の作成  第Ⅲ編 損益計算書 第3章 損益計算書の作成 第4章 その他の財務諸表	・資産、負債、純資産の種類と会計処理及び貸借対照表の作成をとおして、企業の財政状態を適切に報告するための基礎的な知識と技術を習得する。  ・損益計算の意味と損益の区分、収益・費用の認識と測定及び損益計算書の作成をとおして、企業の経営成績を適切に報告するための基礎的な知識と技術を習得する。		
	2 学期	第Ⅳ編 財務諸表活用の基礎 第1章 財務諸表の意義 第2章 財務諸表の見方 発展的な内容  第Ⅴ編 連結財務諸表 第1章 連結財務諸表	・財務諸表分析の意義及び財務諸表の見方について学び、財務諸表を活用するための基礎的な知識と技術を習得する。  ・連結財務諸表の目的と連結の範囲及び連結財務諸表の基礎について学び、連結財務諸表に関する基礎的な知識と技術を習得する。		
	3 学期	模擬演習	模擬演習をとおして、知識の深化と技術の慣熟を図る。		
観点別 評価	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	
	財務会計に関する学習に興味・関心を持ち、授業や課題に対して意欲的に取り組むなど、知識の深化と技術の向上に努めている。	会計に関する法規や基準の変更に対応し、適切な財務諸表を作成したり、利害関係者にとって有用性の高い分析をしたりするなど、主体的な判断を基に正確な作業ができる。	会計情報を利害関係者に提供する能力と態度及び提供された会計情報については、ビジネスの諸活動に適切に活用する能力と態度を身に付けている。	財務会計に関する基礎的・基本的な知識と帳簿作成技術、各種の数値を算出する方法を身に付けるとともに、経済社会において会計責任を果たすことの重要性について理解している。	
備考	4つの観点に基づき、学期ごとに定期考査までの学習のまとめりに評価し、100点法で評価する。また、学年末の評価は、各学期の評価を平均し総合的に評価する。				